

第2回学校運営協議会 報告

1 日 時 令和8年9月26日(土) 13:00～16:00

2 会 場 富士東高等学校 応接室、各教室

3 参加者 学校より 校長、副校長、事務長
委 員 5名出席(1名欠席)

4 内 容

(1) 授業参観 2年生 探究中間発表を中心に参観

(2) 協 議

ア 校長挨拶

本日は、学校公開日の中、2年探究の中間発表があり、これに指導・助言をするために静岡県立大学の学生が来校したり、対外試合で複数の教員が不在であったりして校内が慌ただしい中、お越しいただきありがとうございます。

富士地区では中学生の数が減っているなかで、私立高校を志望する生徒が増えていくと聞く中で、本校の志望者が少なくなるのではないかと危惧している。

富士地区高校の統廃合については、進展はないが今後の動向を見守りたい。

イ 令和8年度前期の取組報告(副校長)

【質問事項①】安全管理について「職員の転落事故があったとのことだが、対応は如何か。」→校長「ケガをした職員は職場復帰を果たし一安心であるが、作業の範囲を事前に確認するなど安全指導については今後も徹底したい。」

「企業では安全管理は厳しい。職場の定期的な見回りを行っている。学校にも同様の安全管理が求められている。」

【質問事項②】台湾研修について「費用の計画は如何か」→校長「総額22～23万円を想定している。そのうち同窓会等の支援を受けて生徒負担は15万円程度としたい。支援にも限界があり、今日のところ希望者が40人を超えており選考が必要な状態である。」

ウ 質疑・助言

A委員：探究について、テーマを絞る学校がある中で、本校は生徒が自由にテーマを設定しているが、テーマが広く指導する教員は大変ではないか。県立大学の生徒がやさしく助言し、生徒がうれしそうであった。

本日は、中学生向けの学校公開であるが、志望校を決めるのは保護者の助言もあると思う。その保護者向けに本校の趣旨説明を行う機会があればよい。本校の良さを保護者にも知ってほしい。

B委員：教員が生徒の発表に対して、必ず質問・指摘をしていることが良い。生徒はよく調べているが、深掘が少ない。発表についてもこれからの社会に求められるプレゼンテーション能力の育成が必要であると感じた。

C 委員：生徒の取り組みが良好である。探究テーマをひとつに絞った学校もあるが、発表がマンネリ化する。本校のように幅広いテーマを取り扱い、答えが在学中に出ない探究があってもいいのではないか。

D 委員：探究の資料がまとまっていてきれいなものが多かった。発表する態度や能力は社会で生きてくる力であるので、さらに伸ばしてほしい。質問がなければ、発表者が指名して質問を受け付ける場面を見た。発表者の意欲が感じられた。大学生からのコメントがさらに充実した内容になるように希望する。
（トコチャンの）部活探訪で本校の陸上部が紹介されている番組を拝見した。本校のよいところが表れていると思う。

E 委員：新聞部がよく富士東分校に取材に来てくれる。また、教育実習生も参観に来るなど交流ができています。台湾研修の希望者が多いのは良いことではないか。環境整備（テニスコート）で協力をしたい。

エ 質疑応答

質問①ヘルメットの着用状況と今後の展望

校長：現在、1年生のみ着用義務としているが、来年度より条例により高校生にヘルメット着用義務が課される。本校としては在校生に周知し、ヘルメット着用を促したい。

質問②インクルーシブ教育について

学校によっては、分校と学校運営協議は合同で行う学校もある。協力できるところは合同で行った方がよい。

校長：学校行事など協力できるところは合同で行っている。今後でもできることは協力していきたい。

委員より：本校の分校との共生共育の取り組みは、普通であると言うが、この普通を実践している学校は少ない、貴重な取り組みである。

質問③本日、対外試合で不在の部活動があり、見学できなかった中学生がいる。見学できなかった中学生・保護者のために「部活動見学日」を設けたらどうか。

校長：検討する。

質問④：DXハイスクールは今年度で終了すると思うが、今後の展望は。

校長：特にNECとの連携は、3年目であり来年度の継続は不明である。本校としては、アントレプレナーシップを新たな視点に加え、そのためにも外部団体や起業家の卒業生の支援を受ける予定である。その一環として富士東分校の作った商品を本校で販売できないか検討している。